

## ハッピートーク～市長と語る子育て交流会～ 第1回 議事録

開催日時 平成21年7月13日（月） 午前11時～正午

開催場所 友部保健センター

参加者 子育て交流広場「ぼっかぼか」参加者23名

市側参加者 山口市長、子ども福祉課長、健康増進課長、学務課長、少子化対策室長

### 《フリートーク（意見交換）》

1. マルフク制度について
2. 保育園への預け入れについて
3. 子育て支援センター等の利用について
3. はなさかの利用について
5. 毎日使える子どものための施設がほしい
6. 子育て支援センター等の内容の充実について
7. 保育ママ制度について
8. 子どもを預けられる選択肢を増やしてほしい
9. 子育てサポーターについて

### 《内容》

#### 1. マルフク制度について

##### 【意見等】

小学校5年と2歳の子どもがいる。鹿島市は中学生まで、古河市は小学生までマルフク制度があると聞いている。子どもは、アレルギーの薬を毎日飲んでいて月6千円の出費がかかる。そのほか風邪などで医療機関にかかると、月3万円～4万円の医療費がかかる。笠間市でも、小学3年生ぐらいまでマルフクの制度を設けてほしい。

##### 【回答】

マルフク制度は、市町村によって制度が違います。笠間市は、就学前までの対応です。対象年齢を上げてほしいという意見は、各方面からいただいています。昨年度、平成21年度の実施に向けて検討したのですが、費用がかかり実施できないということで先送りになっています。何歳までにするかは別にして、少子化の対応の中で対象年齢を上げることは、必要であると認識しています。引き続き検討させていただきます。

#### 2. 保育園への預け入れについて

##### 【意見等1】

来年小学校に上がると、小学校が終わってすぐは迎えに行けないので、下の子を一番近い保育園に入れて、上の子をそこの学童に入れたいが、入れないと言われた。

小学校の放課後児童クラブは6時半までで、その時間には迎えに行けない。保育園なら7時までやっているの、念のため一番遅くまで預かってくれるところに預けたい。

##### 【回答】

預かってくれるところは午後7時ぐらいまでにしてほしいということですね。要望としてお聞きします。

##### 【意見等2】

子どもを大沢保育園に預けている。同じ保育園に子ども通わせていた友人が第二子を出産して、育児休暇になったときに、退園しなければならなくなった。子どもは、お友だちはどうして保育園に来なくなったのか、聞いてきた。

通園が無理なら、保育園で行なう行事などへ一時的に参加することはできないのか。友人は、一年後には仕事に復帰し、子どものお友だちも保育園に戻ってくる予定である。難しい

ことかもしれないが、週に3回程度、午前中だけでも、子どもたちのつながりを保つために保育園を利用したい。

### 3. 子育て支援センター等の利用について

#### 【意見等】

市内には祖父母に子どもを預けて働きに出ているという人が増えていると思う。近所に子どもが減っているので、祖父母が子どもをどこで遊ばせたらいいかわからない。子育て交流広場「ぽっかぽか」や子育て支援センターがあっても、祖父母世代は、若いお母さんたちの集まる場には行きにくい。せっかくいい施設や機会があるのに、働くお母さんたちの子どもは利用しにくい状況になっている。市報などで、「おじいちゃん、おばあちゃんもぜひご利用ください」というような呼びかけをしてほしい。若い人たちが安心して働きに行ける環境づくりは、2人目、3人目を持ちたいと考える土台にもなると思う。

#### 【回答】

そのとおりだと思います。利用していただくことが重要なので、誰でも利用できるというPRや広報をしていきたいと思います。利用しやすい環境づくりをしていきたいと思います。

### 4. はなさかの利用について

#### 【意見等】

はなさかは、おじいちゃんおばあちゃんにとっては、子どもと行きやすい場所であると思うが、子どもにとっては遊ぶ場所もなく、施設の方の対応はいいが、利用者の方には、小さな子は、おしっこなどはどうするのかと疑問をもたれがちであると思う。空きスペースにおもちゃなどを置いて、子どもの遊ぶスペースを作れば、祖父母にとっても、より子どもと行きやすい場所になると思う。今は、高齢者のための施設で、子どもが行ってはいけない場所のように感じる。

#### 【回答】

わかりました。よく勉強します。

### 5. 毎日使える子どものための施設がほしい

#### 【意見等】

子育て交流広場「ぽっかぽか」や子育て支援センターは、利用時間が決まっている。また、子どもは成長によって遊ぶ時間帯が変わってくるので、雨の日などもあり、子どもを遊ばせる場所がない。できれば、時間を区切ったものではなく、毎日、いつでも使える子どもための施設がほしい。

#### 【回答】

子育て支援センターについて、岩間地区と笠間地区は、既存の施設を利用して、新しくつくりました。友部地区もできるだけ早い時期につくりたいと考えていますが、皆さんが集まりやすい場所にしたいと考えており、場所の問題があります。新しく開設する場合には、毎日運営しているようなシステムにしたいと考えていますが、予算のこともあり、既存の施設を利用したいと検討しているところですので、もう少しお待ちください。

### 6. 子育て支援センター等の内容の充実について

#### 【意見等】

子育て交流広場「ぽっかぽか」や子育て支援センターを利用しているが、その内容が問題であると思う。

昨年度までは、先生が遊びを教えてくれる「かるがもクラブ」という事業があったが、今年からなくなった。通っていたお母さんからすごくいいと聞いていたので、今年から通うのを楽しみにしていたのに残念である。場所の提供もさることながら、内容の充実についても考えてほしい。

また、「かるがもクラブ」は、なぜなくなったのか。

#### 【回答】

「かるがもクラブ」は、半年間、対象者を区切って実施していました。同じ対象者では、不公平であるという意見があり、週2回、午前中、この保健センターを開放することによって、どなたでも来ていただけるようにしました。

行政では、市民の皆さんにより良い方法を考え、事業などを実施していますが、市民の皆さんにとっては、その考えが合わない場合もあると思います。今日のように、市民の皆さんにいろいろな意見を出していただくことは、大切なことであると思います。

意見を聞いて、すぐに転換をして事業を実施するというわけにはいきませんが、それだけ喜んでいてくれるのなら、不平等感をどうなくして実施していくのかということをよく勉強してみたいと思います。

## 7. 保育ママ制度について

### 【意見等】

保育所や幼稚園がいっぱいのに、どこかの都道府県で保育ママという制度を聞いたことがある。笠間市では、保育ママを実際に希望している方はいるのか。あるいは、保育ママを養成して、こういった施設や自宅で利用できる保育ママ制度はどのくらい進んでいるのか。

### 【回答】

保育ママは、国の子育て安全ということで、民間のお宅で保育士の資格を持った方が少人数を預かるという、始まったばかりの制度です。実際に水戸市では、待機児童が多いので、そういった制度を活用して、待機児童を減らせないと期待しているところです。県では、保育ママ育成の基金を作って、募集しようという段階で、まだ始まったばかりの制度であるにご理解をいただければと思います。

## 8. 子どもを預けられる選択肢を増やしてほしい

### 【意見等】

年子の子どもがいます。保育園に入所の申込みに行くと、定員の関係で上の子は入れても、下の子は入れません。あるいは、下の子は入れても、上の子は入れないと即座に言われます。保育園を増やすというのは難しい話かと思うが、検討はしていないか。

保育園に預けられないのなら、子育て支援センターに行こうかとも思うが、子どもがなじめるともかぎらないので、子どもを預けられる選択肢が少ないと思う。

お年寄りが増えていくと思う。公民館などで昔の遊びなど、おじいちゃん、おばあちゃんと遊べる場なども作ってあげれば、子どもを預けられる選択肢が増えていくと思う。

### 【回答】

保育園を増やすということは、検討はしていません。

子育て支援については、岩間地区、笠間地区に開設したので、できるだけ早い時期に友部地区にも開設をしたいと考えています。

建物をつくるだけではなくて、既存の施設で、世代間の交流ができるようなメニューを増やしていきたいと思っています。

## 9. 子育てサポーターについて

### 【意見等】

保育ママについて、検討しているのならば、在宅で他のお子さんと預かってみるという方と、仕事で急に保育園に迎えにいけなくなってしまった場合に、迎えに行ってもらって、そのまま自宅で見てもらえるような制度にしてほしい。

### 【回答】

現在、笠間市にも「子育てサポーター」という制度があります。社会福祉協議会が行っており、会員制です。